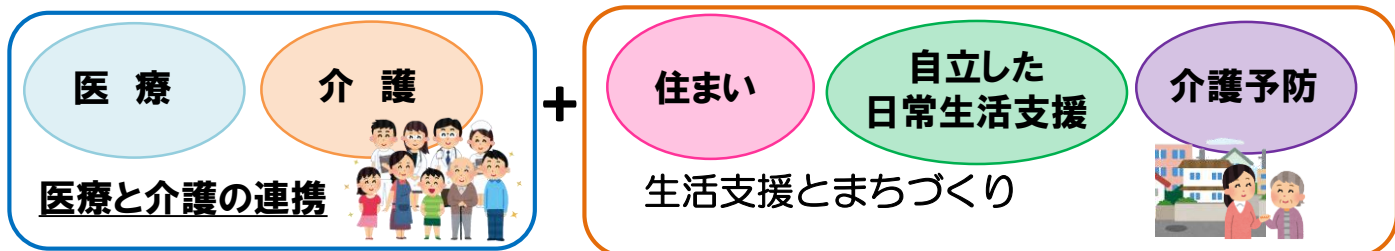


ほうかつだより

～ 住み慣れた地域で支え合い、自分らしく
安心していきいきと暮らし続けられるまち 久留米 ～
介護や支援が必要になっても、出来る限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、医療や介護サービス、地域やボランティアなどの団体による支援などが一体的に提供される体制「地域包括ケアシステム」が高齢者の皆さんの生活を支えます。

地域包括ケアシステムを構成する5つの要素



疾病を抱えても、住み慣れた地域で自分らしい生活を続けていくことができるように、医療機関と在宅介護サービスの調整を行うケアマネジャーが連携を図り、**切れ目のない支援**を行います。
そのために、以下のご協力をお願いします。

1. 日頃から「保険証セット」の準備

- ①医療保険証
- ②介護保険証
- ③お薬手帳
- ④かかりつけ医療機関の診察券
- ⑤担当ケアマネジャーの名刺



保険証セット

※ 急な入院等でご家族がケアマネジャーに連絡できない場合などに、医療機関がケアマネジャーと連絡が取りやすくなります。

2. 入院したらケアマネジャーへ連絡

介護サービスを利用されている方は、入院となった時にはなるべく早く担当の**ケアマネジャー**に連絡してください。



地域包括支援センターは、地域の皆様や関係機関との協働による高齢者支援や専門的な地域課題を解決するためのネットワークづくりを目指します。

次回、11月号では高齢者虐待防止についてお伝えします。